

# 赤ちゃんレポート

アダチです。

いきなりですが、家族が増えました。

赤ちゃんが生まれたのです。

人生が変わるのは一瞬で、  
今の気持ちは今しか感じ取ることができないので  
レポートとして残しておこうかと思います。

ある日嫁さんの陣痛が始まって、その日の夜に  
病院に送って行きました。

コロナの影響で病院に行けるのは産む人のみで  
旦那である僕は、同行することができずに  
家で頑張る奥さんを応援することしかできなかった。

「てか本当に母子共に健康に生まれてくるのか」

「本当に自分が父親になれるのか・・・」

その時の感情は  
どちらかというと「不安」しかなかったのです。

そんなときに僕のLINEに奥さんから報告が入り、

「もう開いてるから朝には生まれると思う」

まじかよ、もう生まれるのか・・・。

全然、実感わかんねー。。。

でもとにかく母子共に健康なのが一番で  
とにかくベッドで天井を見つめながら  
ひたすら祈るしかありませんでした。

しかし、僕はそのままたウトウトと眠りについてしまったのです。

普通に考えたら嫁さんがイキって苦しんでる時に  
寝るなんて言語道断なんですけど  
僕は寝てしまったのです。

ふと横にあったスマホを見ると  
嫁さんから立て続けに2件の着信が。

まさか、、なにかあったのか??

かけ直しても全く出ません。

それから5時間後、LINEで赤ちゃんの写真とともに  
無事生まれたと報告がありました。

ほっと胸を撫で下ろして、頑張ったねーっと  
通話をするとどうやら帝王切開（  
何らかの問題が生じて経膣分娩が難しいと判断された場合に、手術で赤ちゃんを出産する方法で  
す。）  
で出産したとのこと。

つまりお腹を切って、出産したらしく。

なにかあったら危ないので  
そのため、主人である僕に事前に報告するために  
LINEで通話をしたものの、でないので  
結局、お姉さんに電話をしてから帝王切開をしたのです。

まあ僕の不手際もありましたが  
とにかく母子共に健康で生まれたことが何よりです。

コロナの影響で赤ちゃんと対面できるのは1人15分なので  
生まれてから2日後に初めて対面しました。

初めて抱っこした時の感触、ドキドキ感は  
一生忘れることはないでしょう。

子供に全く慣れていないので  
抱っこしたときはドキドキで・・・

「うわ、、本当にうごいでるよ」  
「落としたら死んでまう」

そんな感覚で、  
すぐに奥さんに赤ちゃんを手渡すほどでした。

その時は、あんまり実感は湧かなかったんですね。

ただあれから10日たった今、  
毎日育児に奮闘しています。

てか思ったのはこれ嫁さんだけじゃ  
無理じゃない??ってこと。

よくワンオペ育児って聞くけど。  
まあ無理よ、無理。体が持たん。

しかも奥さんは帝王切開してるので  
常に体が痛い痛いつていつてる。

そんな状況でミルクをあげたり、  
おむつを変えたり、  
沐浴させたり、  
洗濯してたら体がもたん。

しかも元気な日は一日中泣いてるもんだから  
常に抱っこしながらあやさないといけない。

あやしながら、体の痛みに耐えながら  
育児するのはさすがにキツイ。

しかも出産後の女性のホルモンは崩れやすく  
口調もキツくなる。

当然ながらそのストレスは夫の僕にくる。  
揉める。

赤ちゃん生まれて、それで幸せだーっ  
毎日が楽しいーって思ってたけど

もちろん赤ちゃんは可愛いよ  
ただ育児は大変だわ。

このままだと嫁さんがパンクすると思って

いまは僕が積極的に育児に参加してる。

ほぼ家にいて

おむつも変えるし

沐浴もさせるし

ミルクも作るし

ミルク後のゲップも出させるし

泣いたら立ってあやすし

初めて我が子を抱っこした時は、

ガクガク震えて、筋肉痛になるくらい

神経質になっていたけど

今は片手で抱っこしながらあやしてる。

まあ人って変わるよね。

僕は当初、育児に関しては

仕事が終わった夜に

赤ちゃんの世話をすればいいや程度に

簡単に考えていたけど、甘かった。

ワンオペはキツイ。

昔は男が育休???どうゆこと??

って思ってたけど、

育休できるなら

育休すべしだと思う。

1人で育児はマジでしんどいから。

泣く

おっぱいあげないといけない

寝ない

ミルク飲まない

泣く

あやしてもなく

自分が寝れない

となるとどんどん嫁さんの体力と気力が失われていく。

だったら休めるなら

力のある男性が近くに

いるだけでも、全然違う。

赤ちゃんが泣いたら、

すぐにあやす人がいるだけでも

全然違うと思うよ。

だって泣いてたら寝れないし、

寝れなかったと思ったら

授乳の時間になるし、、、

いやー、マジで誰がみても大変だと思う。

だから、男性は積極的に

育児に参加すべしと思ったね。

ただ育児に参加しすぎても

揉める時もあるけど笑

それでもやっぱり家に頼りになる人がいるだけでも全然違うし、話す人がいるだけでも気も紛れる。

ただ僕が積極的に育児に参加できてるのもやはりネットを使って PC1 台で仕事ができるビジネスに取り組んでいたから。

仮に店舗を駆け回って、アマゾンに納品するような「店舗せどり」だったり

毎日のようにツイッターで営業 DM を送って塾の勧誘をするような労働型のビジネス

を選択していたら多分、育児には参加できなかったでしょう。

僕が選択したのはブログや You tube, Twitter を使って集客して、メルマガで商品を販売している

いわゆるリストマーケティング。

今まで過去に書いた記事や you tube で僕を知ってくれた人がメルマガに登録して、

そこから勝手にメールが流れて商品が販売されるので極論、何もしなくても収益が発生してしまう。

しかも僕の場合は、  
商品が高単価なのでインフルエンサーのように  
莫大なアクセスも必要ない。

商品は無形商品なので在庫は発生しないし、  
売れたお金がそのまま利益になる  
控えめにいって神だと思う。

僕は、10年前にネットビジネスの中でも  
転売ビジネスで起業して  
ずっと転売だけしかやってきませんでした。

でも年齢がいくにつれて  
体力もなくなっていだろうし、

時間との引き換えでの労働収入だから  
やはり時間的制約があります。

せっかく自由になりたいくて  
起業したのに、常に在庫に縛られている  
不自由さに嫌気がさしていたのです。

結婚して子供ができて  
仕事ばかりで遊ぶ時間が  
なかったら本末転倒ですね。

だから在庫も発生しない  
資金もいら  
PC1台で完結する



そんなビジネスに憧れて  
リストを使って自社商品を販売するコンテンツビジネス  
に挑戦しました。

挑戦して約2年経ちますが  
今の感想として

「間に合った」

というのが正直な感想です。

もし、ずっと自分が動かないと発生しない  
収益だけに頼っていたらとおもうと  
ぞっとします…。

不労所得、自動収益って怪しく聞こえるけど  
実際にあると本当に楽ですよー。

今は職場は家でもパソコンさえあれば  
できるし、赤ちゃんをあやしめながら  
PC作業しながら利益を出すこともできます。

商品も勝手に売れて、利益が発生するので  
育児でなにもできない今の状況はほんまに  
ありがたい。

いままでネットビジネスの恩恵に感謝してきましたが  
今ほど、ネットの威力、

ありがたみを感じることはないです。

先ほども書きましたが

「間に合った」という表現は本当に適切で

この場合は

- ・金銭面
- ・時間的余裕

2点あります。

一つ目の金銭面についてですが

実をいうと「不妊治療」に長い間悩んでいたのです。

菅元総理のおかげでいまは

不妊治療に保険が適用されましたが

以前は1回治療するのに

数万かかるのは当たり前で

多い時は20万以上かかることもあったのです。

それを数年間やっていたので

稼いだお金を全て治療に当てていました。

怖くて、計算してないけど多分新車の車は

余裕で買えるくらいの額は

投じてきました。

だから稼いだお金は治療費に消えるので  
毎日節約をしていたのです。

毎月 100 万円以上の収益がありますが  
治療費に当てていたなので、今だに家も建てていません。

ただ自己投資には重要だと認識していたので  
教材などには積極的に投資をしてきました。

だからお金はあんまり残ってないです。

だけど、高額な治療費を払ったお金で  
奇跡的に命を授かれたので  
やっぱりお金は大事だと思うのです。

お金がなかったら治療もできなかつたらうし  
子供も授かることもできなかつたらうし  
今後満足いく教育を受けさせることもできません

だからやっぱりお金って大事だなーと  
心から思っています。

おそらく昔のような安月給なサラリーマンだったら  
その全てを叶えることができなかったの  
そういう意味では起業して

それなりに稼げるようになってよかった。

だからお金の重要性を人よりも感じているし  
お金は絶対にないより確実にあったほうがいい。  
そのためにも稼げる自分になるためには  
スキルを磨くしかないし、  
一からお金を生み出せるスキルがあれば  
一生お金に困ることはない。

今の僕の現状としては、  
転売の収入もあるし、  
ブログや Twitter からのリストをとって  
自社コンテンツを販売する仕組みの収入もあるので  
めちゃくちゃ安定してるんだよね。

しかもアクセスを増やしたり  
Twitter の影響力を高めたり  
商品数を増やすだけで  
勝手に売り上げがあがるのは本当に助かる。

ネットにずっと僕の分身が働いてるので  
赤ちゃんをあやしているとき  
ミルクをあげるとき  
沐浴してるときでも

5 万円の商品が売れて  
収益になってしまう。

うん、ありがたい。

5 万円の商品が月に 4 個売ってくれれば

それだけで月収 20 万円。

まじででかいよね。

時間的にも、金銭的にも余裕があれば  
ある程度の悩みは消える。

例えば、今回のように赤ちゃんが生まれて  
育児が大変だーと  
なったときでも

金銭的、時間的にも余裕のある働き方を  
していれば別に慌てることはない。

「嫁さんが大変そうだから1ヶ月は家で  
作業しながら育児に参加するか」

と臨機応変に対応できる。

こんな感じで赤ちゃんレポートと題して  
何も考えずに書き殴ってきたけど、  
最後に行き着くところは

お金と時間は

大切だよーっていうこと。

じゃないと、仮に赤ちゃんが生まれても  
不幸な人生になってしまう。

育児をしてみて思ったのは  
赤ちゃんが産まれることは

何よりも幸せなことだけど、

もっと大事なのは  
そのあとなんだよね。

想像以上に育児は大変だから  
そのためにも  
金銭的、時間的な安定はあった方がいい。

僕はなんとか間にあったけど  
それは準備をしてきたから。

常に触覚を立てて  
何が一番稼げるのか  
安定して稼げるのか  
時間的な自由度はあるのか

厳選して、さまざまなビジネスに  
挑戦してきました。

結局、僕は転売から  
情報発信、リストマーケティングを勉強したからこそ

「間に合った」のです。

仮にすぐに稼げそうな  
短期的なものばかり追いかけていたら  
「間に合わなかった」でしょう。

そのためにも今を生きる若いうちに  
「間に合う」ためにに準備することをおすすめします。

僕が提案するのは、  
やはり自分で商品作って、ネット使って  
商品を販売することですね。

これだけやっとならば  
間違いなく「間に合います」

最後に、、

やはり自分の子供は可愛いです。

泣いてる時は

「早く寝てくれー!!」と思いますが

すやすやと寝顔を見るだけでも育児の疲れが  
吹っ飛びますね。

それでは。

アダチ